

### 九州看護福祉大学 合同就職説明会

九月十七日、玉名つかさロイヤルホテルにて、九州看護福祉大学の学生の方々に向けた就職説明会に参加してきました。多くの施設や病院の方が華やかにブースを飾られている中、愛隣園のブースには飾りなく・・・次回の教訓にしようと思気込んだところでした。肝心の内容に関しては十六名もの学生の方がブースに話を聞きに来て下さり、児童養護施設について興味を持っていただいたようでした。

就職活動をするうえで、学生視点から気になることや、聞きづらい点を尋ねさせていただきました。そして給与や月のお休み、お仕事の内容等々多くの疑問、質問を投げかけていただきました。

私たち求職者を募集する側としても、可能な限り齟齬がないように丁寧に説明することを第一に心がけていきたいものです。

貴重な機会をいただいた九州看護福祉大学の皆様、ご参加いただいた学生の皆様、本当にありがとうございました。



### 専門職コラム 「地域支援編」

こんにちは。家庭支援専門相談員(地域支援)をしています。土田(トダ)です。近況について報告できればと思います。

主に子育て短期支援事業の利用(ショートステイ・トワイライトステイ)の受入調整を行っています。利用数は年々増えてきているように感じます。地域のニーズとしては非常に高く感じますし、そのニーズに答えられる事は地域の支援としては非常に重要なことだと思っています。児童養護施設の役割として地域支援が求められている中、今後様々な事業の整備や拡充がされていくことと思います。愛隣園としてもスムーズに地域支援が行えるよう、関係職員で定期的に集まり地域支援について話し合っている所です。

他にも入所児童の支援のためボランティアの受け入れ窓口も担っています。ありがたいことにたくさんの方からボランティア希望のご連絡を頂いています。現在はピアノ、学習のボランティアを受け入れ中で、パソコンのボランティアについても実施に向け調整中です。また、愛隣園から近隣大学にもお声かけさせていただき、説明会等を実施し、ボランティアの募集も行いました。令和六年度は九州看護福祉大学の学生三名が子ども達とのデイキャンプにボランティアとしてご参加頂きました。ボランティアの皆様には改めて感謝申し上げます。

最後になりますが、地域のご家庭の支援は様々な関係機関の支援のもと成り立っていると思います。それぞれのご家庭のニーズに合わせたグラデーションのような支援がいきわたるよう今後も広く地域に愛隣園のことを知っていただき、支援に携わっていただければと思います。支援者も支援を受け入れる人たちも、みんなでより良い地域づくりが出来ればと思います。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



デイキャンプでの一コマ

# 愛隣の風

愛隣園だより  
第17号  
発行責任者  
迎田 浩二



「園庭のさるすべり」

## 愛隣園 基本理念

己の如く  
汝の隣を  
愛すべし

マタイ伝第二章九節

律法の専門家が、イエスを試そうとして尋ねた。「先生、律法の中で、どの掟が最も重要でしょうか。」  
イエスは言われた。「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。」  
これが最も重要な第一の掟である。  
第二も、これと同じように重要である。  
『隣人を自分のように愛しなさい。』  
律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている。」  
(マタイ伝第二章三十五〜四十節)

理事長先生!  
旭日重光章受章  
おめでとうございます!  
ごぞいます!



愛隣園子ども一同

去る九月二十三日、各団体の皆様を中心に山鹿市内で受章のお祝いが開催されました。



## 施設長 迎田浩二

己の如く汝の隣を愛すべし  
基本理念を改めて思う

愛隣園が小規模化、地域分散化に取組み早や二十年を迎えてきました。職員数も取組み当初の四倍程になり、各々を繋ぐチーム連携、相互支援体制の強化等検討課題も増えています。その様な背景もあり、ここ数年、法人の基本理念である「己の如く汝の隣を愛すべし」を愛隣園の職員皆さんに殊に周知徹底させていただいています。

先頃、法人創設からの歴史を辿る機会があり、数冊の記念誌を紐解きましたが、法人創設期の先輩理事の寄稿文に、(先行きの不透明な時代になりましたが、こうした時代だからこそ私どもは今まで以上に足元を照らす電源は初代理事長が掲げた理念「隣人を愛すること」であります。(中略)今、四つの施設は愛隣グループとして聖書にある大きな理念によって結ばれています。理事長をはじめグループと共に歩み、苦楽を共にしてきた皆さんによって入所者への奉仕が続けられています。福祉には「これで良い」という目安はありません。もしあるとするなら「職員皆さんの良心」であると思っています。明るい未来に向かって社会福祉法人愛隣園の隆昌と奉仕の第一戦にある皆さんのご多幸を、心から祈念いたします。(で)ありました。

今般、国の制度等の動きが急速に行われる中に、今一度、職員皆さんと愛隣園創設の原点、心の原点を振り返りたいと思います。



# 子ども達の思い出



愛隣荘大運動会



お仕事体験



お芋の苗植え



よしまつ祭ダンス



山鹿灯籠まつりダンス



浴衣でお祭りへ



ハーバリウム作成体験



コリントゲーム作成体験



どろんこ祭り



夏休み海水浴



若藤会馬追い



岩野川デイキャンプ

# 職員の思い出

## 海水浴レクレーション

さんさんと夏の日差しが降り注ぐ8月のある日、子ども19名、職員23名、総勢42名で御立岬海水浴場へ行きました。



ライフジャケットを身に着けしっかりと準備体操をした後、いざ海へ。職員と一緒に少し遠いところまで泳いでみる子、貝殻をたくさん見つけてくる子、みんなで蛇のように列を長くして楽しんでいる子、それぞれの場所でとびきりの笑顔が見られました。

午後からはスイカ割りがあり、子どもは目隠し、職員は目隠し+ぐるぐるバット(10周)で参戦! さすがは子ども達! まっすぐ的確に前進し、「こっちこっち」「もう少し右!」「そっちじゃないよ〜」などと、周りの応援のおかげもあり、見事にスイカを割ることが出来ました。

スイカを美味しくいただいて、最後は記念にパシャリ!

私自身も夏の思い出の1つとなりました。 1年目 CW 川平夏希

## 彦岳宮催事、巫女として地域行事へ参加

第12代 景行天皇の時代(西暦71年~130年)に創建された彦岳宮で、令和6年9月8日(日)に津留井出祭りが開催され、愛隣園の女子児童が5名、巫女舞いと日頃習っているダンス発表を行いました。この津留井出祭りは、地元津留地区で毎年9月9日から11日にかけて行われる伝統的なお祭りです。220年前に完成した井手(灌漑水路)を祝うために始まりました。完成までに幾人かが人柱となり、尊い命も捧げられているそうです。

井手の完成により、津留地区の農業が大きく発展し、豊作が続いたことから、地域の人々が感謝の意を込めてこの祭りを行うようになりました。祭りでは、巫女舞や伝統的な踊りが披露されます。当日も保育園児のダンス、山鹿中学校の太鼓部の披露など大変賑わっていました。子ども達も日頃お世話になっている地域の方々との交流が出来、大変有意義な一日となりました。また、今この灌漑用水のお陰で、愛隣園の手植田の水稻も大きく育ち実っています。



園の女児が巫女舞を踊る様子



## 法人ふれあい祭り

園の周りに彼岸花が咲き始めた頃、今年も社会福祉法人愛隣園ふれあい祭りが開催されました。愛隣園の出し物は、子ども達の手話ダンス「ありがとうの花」と、レッスンに通う女の子達のガールズヒップホップが披露されました。また、新入職員の出し物は、「エビカニクス」のダンスにトライ。今年の新入職員はふたりでしたので、メンバー募集からのスタートになりました。最初から最後まで様々な先生方のフォローアップを受け、どうにか本番! 子ども達も一緒に踊ってくれてとても嬉しかったです。祭りの最後は花火も上がって、これで、連続猛暑日が続いた今年の夏がようやく終わるんだなと思いました。次は、秋・冬の思い出づくりです! 1年目 体固め甲殻隊 エビ担当 吉住裕美子